

2006年 全修協 奥能登環境学習セミナー

実施の概要

1. 目的

修学旅行を通して、児童生徒の環境保全に対する思考力・判断力・実践力を育成するために、現地の人々と交流を図りながら、環境教育に関する指導内容・指導方法に関する研修会を実施する。

2. 主催 財団法人 全国修学旅行研究協会

3. 後援 輪島市、関東地区公立中学校修学旅行委員会

4. 協力 全日本空輸(株)、近畿日本ツーリスト(株)

5. 実施期日 平成18年8月17日(木)～19日(土) 3日間

6. 参加人数 17名(東京都・神奈川県・千葉県の公立中学校教師、全修協)

7. 実施箇所 輪島市、珠洲市、志賀町

8. 講師 藤平朝雄氏(元キリコ会館 館長)

島口慶一氏(輪島市 工房長屋 工房長)

9. 研修箇所 輪島市：キリコ会館、稲忠漆芸会館、サンアリーナ、道の駅輪島「ふらっと訪夢」 輪島工房長屋、白米(しろよね)千枚田、名舟地区、時國家、輪島塗「塗太郎」 輪島塗「大崎庄工門」、輪島朝市、琴ヶ浜、總持寺祖院、角海家 珠洲市：祿剛埼灯台 志賀町：関野鼻

セミナーの概要

8月17日(木)能登空港からバスで輪島市内に移動。昼食を取った後、キリコ会館にて副館長の案内で館内を見学。あわせて隣接の稲忠漆芸会館を案内いただいた。

その後、市内の体育施設「サンアリーナ」に移動。研修室にてセミナーがスタートした。

まず、当協会の中西理事長が趣旨説明を行い、続いて、大下輪島市助役の歓迎の挨拶をいただいた。

最初に藤平朝雄氏から、「能登の文化とキリコ祭り」と題して、能登の地理的状況、能登の人々の気質、加賀の文化と対比した説明などをされ、「能登はやさしや土までも」に込められた意味を興味深く話された。

また、能登が祭りの国と言われる由縁、キリコ祭りに代表される四季の祭りについて触れたあと、キリコ祭りについて、日本海側の各地に数多く残る灯籠祭りとのつながり、北前船、日本海文化の歴史との関係が話された。

最後に能登の「三朱の神輝」と称して、「キリシマツツジ」「キリコ祭り」「日本海の落日の景観」を挙げ、能登の美しさを強調された。

次に島口慶一氏から「漆・うるわし・日本の心」～輪島塗に親しみを～と題して講演をいただいた。

配布資料をもとに、漆芸王国・石川県及び輪島市の全国の漆工芸に占める割合や、輪島塗の歴史・特徴などを話された。特に能登の気候風土、「三津七湊」と言われた輪島港の、京都や北前船などとの関係も詳しく説明いただいた。

また、持参された漆の木を見せながら、我が国の生産量と漆掻きの現状を、製作工程毎のお椀を例に、120といわれる工程の多さ、複雑さを分かりやすく説明された。

現代に使われる漆器として、エコロジー素材としての漆の特徴、輪島塗の堅牢さ、扱いについても市内の全小中学校が給食の椀として使っている例や、100年以上前に作られ、現在も使われている漆器を見せながら、美術品としてでなく、日用品として使ってもらいたい、取扱も神経質になる必要はなく、ご自身が食器洗浄器で洗っている例をまじえながら、普段の手入れさえしておけば、何十年も使用できることを強調された。

中西理事長の挨拶



大下輪島市助役の挨拶



藤平朝雄氏の講演



島口慶一氏の講演



セミナー風景



セミナー後の質疑



約3時間のセミナー終了後宿舎に移動した。宿舎は漆を随所に使用した民宿で、輪島ならではの風情ある建物だった。

夕食を済ませた後、輪島市観光課の永井係長の案内により、旧JR輪島駅舎を利用した「道の駅輪島『ふらっと訪夢』」の2階で行われる「御陣乗太鼓」を見学し、本日の研修を終了した。

8月18日(金)8時40分宿舎を出発。

輪島市役所に市長を訪問する班と輪島工房長屋を見学する班の2班に分かれた。

市役所では梶文秋輪島市長と面談した。梶市長は能登空港と輪島市の観光について熱く語り、また、市が毎年実施している「こども長期自然体験村」の報告書をもとに取組を説明された。中西理事長からは今回のセミナー開催へのお礼を、参加者から今回の研修への期待を直接話していただき、短い時間だったが有意義な訪問となった。

工房長屋では、昨日の講師島口工房長から、工房長屋のご案内をいただきながら、補足説明などを受けることができた。

バスで市内から20分の「白米(しろよね)千枚田」では、永井係長の説明で、最盛期2000枚以上あった棚田が一時は1000枚を切り、現在ようやく1004枚と、その歴史、特に過疎化や農家の高齢化、後継者の問題など、保存していく上で様々な問題について説明があった。

御陣乗太鼓発祥の地「名舟」地区を車窓で見学後「時國家」へ。

「時國家」では、重要文化財に指定されている総面積108坪の茅葺邸宅を中心に見学した。

壇ノ浦の合戦に敗れ、能登に配流された平時忠から始まり、江戸時代には加賀藩の役職を受け継ぎながら農業・塩業・回船業などを営み、今日まで続いている時國家の歴史を、建物内部とともに説明していただいた。

輪島市内を出発してから、常に左側に日本海を眺めながら進めたバスは、能登半島の最先端、珠洲市狼煙へ到着。旅館「狼煙館」で昼食後、館主の井淵さんの案内で祿剛崎灯台へ徒歩で向い、行き帰りの中で、狼煙地区・祿剛崎の自然や歴史・文化の説明を受けた。

狼煙から今度は右側に日本海を眺めながら輪島への帰路、複数ある塩田村の一部で休憩がてら、天然塩や地域独特の「いしり」(魚醬)を購入する参加者も見られた。

輪島に戻り、再度じっくり輪島塗を学習する機会を設けた。まず、輪島塗工房「塗太郎」を訪問。工房内をご主人から案内していただき、続いて輪島塗の説明を多岐にわたって受け、また、参加者の質問も多数飛び交い、時間が瞬く間に過ぎた。続いて昔ながらの塗師屋造り・漆塗りの町屋が多く残る鳳至上町の工房「大崎庄右工門」宅を訪問。京の町屋造りに似て、間口が狭く奥の長い工房内を、ご主人の案内と職人さんの説明などを聞き、また一つ輪島塗の世界を知ることができた。

2日目の研修日程がすべて終わり、2日目は7月にオープンしたてのホテルに宿泊することに。チェックイン後、徒歩で市内のレストランに行き、夕食会を行った後自由行動とした。この日は朝から相当暑く、台風10号が九州方面へ過ぎた後の、日本海側のフェーン現象によるものと、後で知らされたが、地元の人がこの夏一番という暑さだった。

輪島工房長屋



白米 千枚田



時國家



禄剛崎灯台



輪島塗工房「塗太郎」店内



輪島塗町屋「大崎庄工門」宅



8月19日(土)8時30分に宿舎を出発。

旧門前町の「泣き砂の浜」で知られる琴ヶ浜へ。地元の「泣き砂を守る会」の中島会長、及び会の皆様から泣き砂の説明を受けた。浜は残念ながら海水浴で踏まれた後で音はよく出ないとのことだったが、器に入れた砂で実際の音を聞くことができ、参加者も朝から猛暑の中、浜のかなり先まで歩いていた。

再びバスに乗って、10分程で松本清張「ゼロの焦点」で有名な能登金剛、関野鼻へ。ヤセの断崖を遠望した後、引き返して曹洞宗大本山「總持寺祖院」へ向かった。

總持寺では、高島副寺、大橋維那両僧侶の出迎えを受け、山門から入り、仏殿奥の客殿で昼食の精進料理を作法とともにいただいた。その後、大橋維那氏の法話「禅のころ」を伺った後、法堂、放光堂、伝燈院、僧堂の順で案内をいただいた。

最後の研修地となった角海家は、幕末から明治中期にかけ、北海道から九州まで活躍した廻船問屋で、母屋と様々な土蔵(家財蔵、塩物蔵、小豆蔵、米蔵)に、船問屋形式を残す石川県の重要文化財となっている。人の住んでいる家だが、母屋に上げていただき、御当主から当時の日本海交易にまつわる多くの話を聞くことができた。

能登空港に向う途中、路上の温度計は37℃を表示しており、昨日の35℃を更新していた。

空港口碑で解散式を行い、3日間とも同行いただいた輪島市観光課の永井係長の挨拶とお見送りを受けながら羽田への帰路についた。

琴ヶ浜「泣き砂」



琴ヶ浜「泣き砂を守る会」の方の説明



能登金剛 関野鼻



總持寺 山門



總持寺 法話



角海家 邸内



(以上)

《今回のセミナーにご協力いただいた輪島市の連絡先》

・ 輪島市産業部観光課 TEL : 0768-23-1146 URL : <http://www.city.wajima.ishikawa.jp>

研修日程

日次	スケジュール（講師と主な講演内容）	
第1日 8月17日 (木)	10:15 11:15 12:00 13:50 14:00 14:10 14:20 15:30 16:30 17:00 19:30	羽田空港発（ANA747便） 能登空港着 輪島市内 レストラン「花車」(昼食) キリコ会館・稲忠漆芸堂見学 「サンアリーナ」着 セミナー開始 中西理事長 挨拶 輪島市助役 大下泰宏氏 歓迎の挨拶 講演：藤平朝雄氏（元キリコ会館館長） 「能登の文化とキリコ祭り」 講演：島口慶一氏（輪島工房長屋工房長） 「輪島塗を身近に」 質疑 宿舎着 夕食後 「ふらっと訪夢」御陣乗太鼓見学
第2日 8月18日 (金)	08:40 09:00 09:00 10:05 10:30 12:00 12:40 14:50 16:30 17:30 18:30	宿舎出発 輪島市長 梶文秋氏 訪問（代表5名） 輪島工房長屋見学（他参加者） 白米 千枚田見学 御陣乗太鼓発祥の地「名舟地区」車窓見学 時國家 説明と見学 珠洲狼煙 「狼煙館」昼食 禄剛埼灯台 狼煙館館主による説明と案内 輪島塗工房「塗太郎」主人による説明と案内 輪島塗工房「大崎庄右工門」主人による説明と案内 宿舎着 市内レストランにて夕食
第3日 8月19日 (土)	08:00 09:30 10:10 11:00 11:50 13:45 15:00 15:55 17:00	朝食後 徒歩にて朝市見学（フリー） 宿舎出発 琴ヶ浜 守る会会長による「泣き砂」の説明と案内 関野鼻 能登金剛北端部の見学 大本山總持寺祖院 高島副寺・大橋維那両僧侶による案内 法話「禅の心」 法話後昼食（精進料理） 角海家訪問（元北前船問屋 石川県重要文化財） ご主人による北前船の歴史の説明及び 家屋・蔵・当時の道具などの案内 能登空港着 空港口ビーにて解散式 輪島市・能登半島広域観光協会の見送り 能登空港発（ANA750便） 羽田空港着